

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

人類に奉仕するロータリー
Rotary Serving Humanity



活動するロータリー
Rotary Acting

国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム 2016～2017 富津中央RC会長 榎本 守男
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2452 第6回例会 2016. 8. 25 晴

点 鐘 : 榎本守男 会長
進 行 : 山下 厚 SAA
ソング : それでこそロータリー

会長挨拶

榎本守男 会長



皆さん、お久しぶりです。8月6日マザー牧場での親睦BBQ以来の例会です。さすがに今日の出席率はいいですね。

今月、いち川での例会は今日の1回のみでした。クラブの例会への出席が生活のリズムになっているので物足りなさを感じました。皆さんもおそらくそのように感じたと思います。

今年はオリンピックイヤーで、リオでのオリンピックが開会しました。日本選手の大活躍に、テレビにくぎ付けになりました。私の中のベストスリーを上げるならば、まずは400メートルリレーの銀メダルの獲得です。次は卓球の、接戦の末の銅メダルです。続

いて、バドミントンの金メダルです。閉会式でも、次の東京大会につながる日本アピールが、印象に残りました。

スポーツ選手のプロフィールを見ても、インタビューでのコメントを聞いても、自分の性格は負けず嫌いだと紹介されています。負けず嫌いの言葉に、違和感を覚え調べてみました。明治時代までは、負けず嫌いが、一般的だったようです。昭和になって、負けるくらいや、負けじ魂という言葉が使われるようになったようです。

言葉の通りだと、負けないことが嫌い(負けない=勝)になり、勝つことが嫌い、読み替えることが可能になります。諸説ありますが、本来は、①負けず嫌いで負けじ魂という言葉との混同された②言葉の意味から「ず」は打消しの意味ではなく意思、推量の意味でつかわれている地方があるようです。

もともと「むとす」～しようと思うと言う言葉が「ず」に変化したものだそうです。ちなみに英語では hate losingです。頭の隅にでも残していただければ幸いです。

本日は山下さんの長崎の原爆についての卓話があります。

その後9月15日のガバナー訪問に備えてクラブ協議会を開催し、小野ガバナー補佐よりアドバイス頂きます。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館 Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>
Mail home@futtsuchuo-rotary.org



幹事報告

渡辺哲夫 幹事



1. 2015－16年度インターアクト報告書(回覧)
2. 木更津RC・上総RC・袖ヶ浦RC・富津シティRC
クラブ活動計画書・週報(回覧)
3. 木更津RCより例会変更のお知らせ
9月7日(水) 点鐘:12時30分
場所:木更津ビューホテル
木更津東RC・袖ヶ浦RC・木更津RC合同ガ
バナー公式訪問 9月8日(木)(振替休会)
9月25日(日)地区大会移動例会
9月29日(木)(上記に振替休会)
4. 上総RCより例会変更のお知らせ
8月25日(月)→8月29日(月)
点鐘:12時30分 ホテル千成
君津RC・上総RC合同ガバナー公式訪問
9月22日(木) 休会(定款第6条第1節c項)
9月15日(木)→9月25日(日)点鐘9時30分
9月29日(木)休会(定款第6条第1節c項)
5. 袖ヶ浦RCより例会変更のお知らせ
9月5日(月)→9月7日(水)移動例会
場所:木更津ビューホテル
木更津RC・木更津東RC・袖ヶ浦RC合同ガ
バナー公式訪問
9月19日(月) 休会(定款第6条第1節C項)
9月26日(月) 休会(地区大会に振替)
6. 「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」
開催の案内および公共イメージ向上企画協力金
のお願い(回覧)
7. 第2790地区「マハラジャDE交流会」の案内
8. 「ちば里山新聞」(回覧)

委員会報告

高橋裕之 50周年実行委員長



1. 記念事業は、大貫・佐貫・天羽の3中学校へ
の寄付とします。
 2. 11/12(土)会員集合8:00です。
 3. 嘉義南RCは、11日、12日オークラ泊で、13
日、14日にゴルフ組と観光組に別れます。
- 「ふれあいの集い」の件です。
1. 日舞(栗原会員親子)「お祭りマンボ」
 2. バンド「上を向いて歩こう」「テネシーワルツ」
 3. 全体合唱「みかんの花咲く丘」「里の秋」

卓話 「原爆はいらない。必要なのは・・・」

山下 厚 会員



1945(昭和20)年8月6日、この世で初めて広島市に原子爆弾が投下された3日後、2度目にそれが投下されたのはわが故郷長崎でした。

広島に落とされた原爆のコードネームはリトルボーイと言い、ウラン235が原爆の燃料として使われたこと等、昨年の夏の卓話で広島出身の榎本会長が詳細に語ってくれました。

これに対して長崎に落とされた原爆はプルトニウム型でコードネームはファットマン、TNT(トリニトロ

トルエン)換算で22kトンと広島よりも1.4倍も大きかったのです。にもかかわらず犠牲者の数が長崎の方が少ないのは熱風・爆風・放射能が、山がちな地形で遮られたからだと言われています。

原爆が被害を与える要素は3つあります。1つが熱です。地上600メートルで爆発したファットマンは直後の地表温度を6000°Cにしました。爆心地近くで被爆された方は一瞬にして黒焦げになって亡くなられたのです。また爆心地の500m以内では、爆風はマッハステムと呼ばれるように音速を超えていたようで、秒速450mにも達したということです。秒速450mの爆風の威力がどんなものか、俄かには想像できませんが、爆心地から2km離れたところまで、全ての家屋が倒壊したという事実が爆風の凄まじさを表しています。

原子爆弾は灼熱地獄、爆風の他にもう一つ、放射能によってもヒトを殺してしまいます。

長崎市内には被爆直後に放射線障害で即死、当日死された方が大勢いたそうです。高熱や爆風をかいくぐって生き残った方々も放射線障害からは逃れることはできませんでした。その後長期に亘って自分だけでなく、子や孫にも原爆の影響が出るのではないかと、恐れおののきながら生き続けなければなりません。若くして白血病で亡くなった者が私の親戚筋にも二人います。

今年の5月27日、アメリカのオバマ大統領が広島を訪問しました。任期をわずかに残しただけで、レームダックと見做されている故に出来たことだという評価もありますが、アメリカの大統領が広島の前爆記念碑を訪れて花束を捧げるという行為は、被爆者から見れば、核廃絶に向けて一歩前進という積極的評価がなされて当然でしょう。原爆投下命令を下したトルーマン大統領は勿論、その後の歴代アメリカ大統領の口からは、原子爆弾を投下したことの反省は今まで1回も発せられていません。逆に原子爆弾の投下によって第二次世界を早く終わらせることが出来、且つアメリカ軍の兵士50万人の損耗を防ぐことが出来たというのが、アメリカの国民の圧倒的支持を得ている原爆投下に対する歴史的評価です。更に国民世論に背を向ける発言が出来ないの

が通常のアメリア大統領ですから。トランプ大統領になれば、どうなるか分かりませんが。

今の所、世界には最後に核保有国になった北朝鮮を入れて9つの核保有国があります。

保有する核弾頭の数と一緒に言えば、ロシアが7300発、アメリカが7000発、フランスが300発、中国が260発、イギリスが215発、パキスタンが130発、インドが120発、イスラエルが80発、北朝鮮は保有していることは判っていても数ははっきりしないようです。

原子力発電所の燃料にしたウランから出来る副産物のプルトニウム。我が国には今48トンのプルトニウムが保管されているそうです。長崎に投下されたプルトニウム型原子爆弾はプルトニウムが8kgあれば製造できるそうで、我が国は潜在的に6000発の原子爆弾を作る能力があるそうです。それ故、我が国の核武装を警戒している国があることも事実です。

東京電力福島原発の事故で、人類は未だ原子力をコントロールする技術を持っていないことを一般国民も知ることになりました。民族紛争や内戦、小規模な紛争はあっても国家間の大きな戦争がなくなって久しい世界。二つの大きな世界大戦を経験して国同士の、通常兵器だけではなく核兵器・原爆・水爆まで使う戦争になればお互い滅亡する可能性があることに気付いている世界にあって、本当に怖いのは、国家を離れた、宗教や民族で結びついた一部の組織が核兵器を手にする事だと私は思っています。

我が国には根強く核の傘論が存在します。アメリカの核の傘があるから我が国の平和は守られている、という考えが国の主流だろうと思っています。ですから唯一の被爆国でありながら、核軍縮会議にも、核不拡散防止条約にも積極的になれないのでしよう。オバマ大統領の「核の先制不使用宣言」にも反対のようです。

弾道ミサイル防衛(MBD)という言葉があります。昨日も北朝鮮が日本海に向けてミサイルを発射しました。もう何回も同じようなことが有ったはずですが、しかし、これを迎撃ミサイルで撃ち落とすという

話は聞いたことはありません。それもそのはず、実際のところ、アメリカにもロシアにも、中国にも大陸間弾道弾 (ISBM)、戦略潜水艦発射弾道ミサイル (SLBM) を迎撃、着弾する前に撃ち落とす技術は現時点ではないのだそうです。つまり迎撃ミサイル構想は膨大な軍事予算・防衛予算を食いつぶしながらも現時点では幻想にすぎない、ということのようです。そうであれば、核保有国であっても現実的には核兵器は使うことが出来ない、ということだと私は理解しています。つまり核兵器で先制攻撃をしても、仮想敵国Aが国内のあちこちに移動式ミサイル基地を、海上にもあちこちにミサイルを発射出来る潜水艦を配備している状況では、報復攻撃を受けることが明らかだからです。先制攻撃した国が無傷ということは有り得ないのです。

歩行者の列に車で突っ込む、銃を乱射するなど、類似した大量殺人事件が世界のあちこちで時々発生します。多くが自殺願望を持つ犯人が周りを巻き添えにして起こす事件です。こういう事件の予防は現実的に極めて困難です。

先に広島を訪れたオバマ大統領は核攻撃のスイッチを持ったまま来日している、と報じられていましたが、核兵器のスイッチを押す権利を有する国家元首、大統領なりがそういう考えに取り憑かれればどうなるか、考えるだけで身震いしそうです。

高校生の時、ふすま1枚を隔てて私の隣の部屋に住んでいた田上富久さん、今長崎市長ですが、彼のこの夏の世界に向けての平和宣言で「核兵器保有国をはじめとする各国のリーダーの皆さん、そして世界中の皆さん。長崎や広島に来てください。原子雲の下で人間に何が起きたのかを知ってください。事実を知ること、それこそが核兵器のない未来を考えるスタートラインです。」と呼びかけました。

20世紀は戦争の世紀とも言われています。広島、長崎の被爆者を含めて戦争の犠牲者が約1億人にも達しました。この間の地震、津波、風水害等の自然災害の犠牲者は約1000万人で戦争被害者の10分の1でした。

ヒトにとって自然災害よりも怖いのはヒトであるという100年の歴史が証明した現実。原爆はいらな

いけれど、戦争を、紛争を回避するための多種多様な知恵が今切実に求められています。

クラブ協議会について

小野恒靖 ガバナー補佐



クラブ協議会に関する連絡事項説明でした。

ニコニコBOX

神子勝美 親睦担当委員



千葉一利 退職校長会麻雀大会で優勝して
神子 恒 お久しぶりでございます
山下 厚 卓話をさせて戴いて

*印は1,000円より上 合計3,000円
前回のニコニコ訂正 (2週、同じ掲載でした)
榎本守男 親睦例会よろしくお願いたします
渡辺哲夫 //

出席報告

志波 克 出席担当委員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	31/29	24	5	0	82.76%
前回	31/28	20	6	2	78.57%
前々回	31/26	21	5	1	84.62%